



暑さが厳しい季節となりました。今年は、水泳学習が6月から始まり、子どもたちは茨城スイミングで、外部コーチに指導のもと、コースに分かれて、意欲的に取り組んでいます。また、学校の花壇は、マリーゴールドやサルビア、ニチニチソウ、ペゴニアなど色鮮やかな夏の花にリニューアルしました。環境委員会とボランティアの子どもたちで、植えました。

さて、今年は、ひたちなか市政30周年です。5月に行われた運動会では、市政30周年を記念し、子どもたちの活動に役立つ記念品として、テントを購入し、昨年度購入した150周年記念事業のテントとともに披露させていただきました。これからの教育活動に役立てていきます。また、児童の活動として、ひたちなか市誕生30周年を意識して、花壇のデザインに「30th」の文字を入れ、花苗を植えました。

玄関の左には、平成6年11月にひたちなか市誕生記念のキンモクセイが植えられています。30年の年月を感じました。自分たちが住む「ひたちなか市民」としてのシビックプライドについては、秋本教育長がひたちなか市の広報でも、重視している言葉です。郷土を愛する心を大切にしていきたいです。

さて、いよいよ子どもたちにとって楽しみな夏休みが始まります。夏休みは、普段なかなかできないことに、チャレンジしてほしいと思います。本を読んだり、観察をしたり、家族の一員として継続的に手伝いをしたり時には、各種のイベントに参加したり、美術館や博物館で良い作品に触れたりする機会にもなるでしょう。

お子様にとって有意義な時間を家族と過ごしていただければと思います。夏休みの経験を子どもたちのエネルギーとして蓄え、9月からの新たな原動力にして欲しいと願っています。そして、成長した姿を見たいと思っています。



朝の読み聞かせ、ありがとうございます。



各学年で読み聞かせを行っていただいています。保護者の方の読み聞かせは、子どもたちにとっても新鮮です。お力添えに感謝いたします。読書をすることで、読む力はもちろん、視野が広がります。休みに、図書館で本を借りるのもいいですね。

心に残る言葉（「命の授業」腰塚勇人さん 昨年度参加した講演会より）

- 口は人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう
- 目は人のよいところを見るために使おう
- 耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
- 手足は人を助けるために使おう
- 心は人の痛みをわかるために使おう

★「大切なことは何か」に気づかせてくれる言葉です。